

第 69 回中国四国産科婦人科学会評議員会議事録

評議員会： 2016年9月25日（日） 7：30-8：30

於：JR ホテルクレメント高松 3階 楓・桐

出席者：会長 秦 利之（香川）

理事	京 哲（島根）	工藤 美樹（広島）	下屋浩一郎（岡山）
	杉野 法広（山口）	杉山 隆（愛媛）	前田 長正（高知）
監事	藤田 卓男（香川）		
幹事	田中 宏和（香川）	鎌田 泰彦（岡山）	
評議員	伊藤 隆志（鳥取）	岩部 富夫（鳥取）	上田 克憲（広島）
	越智 博（愛媛）	金西 賢治（香川）	関 典子（岡山）
	田村 博史（山口）	寺本 秀樹（広島）	内藤 博之（広島）
	中塚 幹也（岡山）	長谷川雅明（岡山）	濱脇 弘暉（高知）
	藤野 俊夫（山口）	古本 博孝（徳島）	増山 寿（岡山）
	水之江知哉（広島）	三好 博史（広島）	村上 朋弘（広島）
	山本 暖（広島）	安井 敏之（徳島）	矢野 浩史（愛媛）
	横山 幹文（愛媛）		

（欠席者：苛原 稔，原田 省，平松 祐司，

青木 昭和，池上 信夫，乾 泰延，岩成 治，金崎 春彦
谷口 文紀，中山 孝善，沼 文隆，江尻 孝平）

会長挨拶：

秦会長より，評議員会開催の挨拶があった。

おはようございます。昨日はありがとうございました。お食事をとりながら評議委員会を開始させていただきます。

報告事項：

- 1) 秦会長より指名を受け，鎌田幹事より平成 27 年度会員数および会費納入状況，平成 28 年度会費納入状況，会誌発行状況について報告があった。
- 2) 秦会長より指名を受け，鎌田幹事より今年度の学会賞（八木賞）は応募が無かったことが報告された。

- 3) 秦会長より指名を受け、鎌田幹事より平成 29 年度臨床公募研究への応募が無かったことが報告された。また、それに関して昨日の理事会で、応募が無いというのはもったいないことであり、各施設より数例ずつ症例を集めればよい内容の研究ができるのではという話もあり、公募期間の延長が審議されたことにつき併せて報告された。

秦会長より、公募が無いようでしたら何回もアナウンスメントをして、なるべく応募していただきたいという意見があったため、10 月末締め切りで臨床公募研究の再公募をしても宜しいでしょうかと発言があり、それに関しては全会一致で承認された。

- 4) その他の報告事項は、特になし。

協議事項：

- 1) 平成 27 年度決算書

秦会長より指名を受け、鎌田幹事より、平成 27 年度会計の報告があった。

次いで下屋理事より、支出の部の「Plus One 産婦人科セミナー」の会計報告の追加がなされた。学生および初期研修医を対象に ALSO、腹腔鏡のレクチャーを昨年学術集会中に施行した。収入は日産婦からの 100 万円および本会予算が最大 150 万円までであり、支出が 2,295,813 円であったと説明があった。また非常に盛会ではあったものの、費用対効果とかの今後の開催への課題を残したとの報告があった。その件に対しては特に意見なし。

続いて、藤田卓男監事より監査報告があり、全会一致で承認された。

- 2) 平成 28 年度予算案

鎌田幹事より報告があった。すでに各財務委員からの承認を頂いている旨が伝えられた。

収入の部については、今年度の会費納入の義務のある会員数は 1,256 名で、会費納入率は例年 99%以上であること、また若干名の過年度会費納入と併せて考え 1,256 人分で計算した。また機関誌収入について、掲載料は過去 5 年間の投稿件数および 1 編あたりの掲載料より 150 万円を計上した。利息は昨年同様で策定した。

支出の部については、機関誌刊行費の印刷費を 430 万円に増加した以外は、例年通りに策定したと説明がなされた。

秦会長より、プラスワンは今年から日産婦本部からの予算は 100 万円から 50 万円に減額されました。今後のことはよくわかっておりませんと追加発言があった。

その件に対しては特に意見なく、全会一致で承認された。

- 3) 次期および次々期開催の件

秦会長から、本来は今年度は愛媛県での開催でしたが、杉山教授が着任の年でしたので香川県と交代して開催いたしました。来年の(第 70 回)本会は平成 29 年 9 月 23、24 日に広島で工藤教授が開催されます。また 2 年後の第 71 回(平成 30 年)は、愛媛大学の杉山教授に

お願いしますとの報告があった。

4) 役員交代について

各役員の改選については別紙の如く改選された。期間は平成 28 年 9 月 26 日から平成 29 年 9 月 24 日までとする。

5) 名誉会員推戴について

愛媛産科婦人科学会より池谷東彦先生、徳島産科婦人科学会より三谷 弘先生の計 2 名の推薦があり、承認された。

また鎌田幹事より大楽高弘先生、丹羽国泰先生のご逝去につき報告があった。

6) プロジェクト Plus One 産婦人科セミナー収支報告について

下屋理事より、先ほどの決算書報告の通りであるとの説明がなされた。

7) その他

上田克憲先生より、第 65 回の本会の開催地が松江でなく出雲ではとのご指摘があり、事務局で修正する旨をお伝えした。

工藤理事より、以下の如く挨拶があった。配布させていただきましたのは、来年の日産婦総会のポスターです。当初は堅く写真で作ろうとも考えていましたが、タイトルからも柔らかいものを作ろうとしてこのようなイラストになりました。リーガロイヤルホテルなど 3 会場での開催となりますが、3 年前に日本整形外科学会が作業療法士の方の参加も併せて 1 万人規模の学会を行っておりますので、キャパシティーは問題ないと思っています。折角広島で開催しますので、何か広島らしいことをやらなければならないということで、企画として放射能影響研究所の先生に「戦争と医療」とか「原爆と医療」の講演も考えております。

昨晚の懇親会でプログラム委員長の三好先生よりお話をさせていただいたかもしれませんが、理事長のご意見で日産婦の国際化、具体的には一般演題の英語での発表をお願いしております。現時点の演題応募では 3:2 で日本語が多いです。今年の韓国産科婦人科学会では発表がほとんど英語になっていました。近隣がそうなので、日本もそうしていかないといけないというのが理事長のお考えです。

広島は、今は町中どこも真っ赤です。またオバマ大統領が広島に来たことで、閑散としていた平和記念資料館にも長蛇の列ができています。この 2 つの波に乗って、久々の地方開催ですので、地方でやって良かったねと言われるような学会にしたいので是非ご協力をお願いいたします。

なお中四は平成 29 年 9 月 23、24 日の土日で予定します。広島駅に隣接した県医師会館か、ホテルグランヴィア広島か、平和公園の国際会議場での開催を考えております。

杉山理事より、2 年後の第 71 回の本会は平成 30 年 9 月下旬に、会場は未定ですが松山市で開催いたします。開催につきましてはご協力をお願いいたしますとの挨拶があった。

秦 会長より閉会の辞あり，閉会.

以上